

## 建築仕上げ材(ボード材)加工アシスト機 「iBow(アイボー)」を開発

～アクティオ、竹中工務店、爽美、カナモト、朝日機材、AvalonTech の共同開発～

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人)は、株式会社竹中工務店(取締役社長:佐々木正人)、株式会社爽美(代表取締役:小野田拓也)、株式会社カナモト(代表取締役社長:金本哲男)、朝日機材株式会社(代表取締役社長:伊藤雅哉)、AvalonTech 株式会社(代表取締役 CEO:霍達)と共同で、生産性向上や品質向上を目的とした、建築内装仕上げ材(ボード材)の加工アシスト機「iBow」<sup>※1</sup>を開発しました。特許出願済み<sup>※2</sup>です。

※1:株式会社爽美から商標登録出願済み

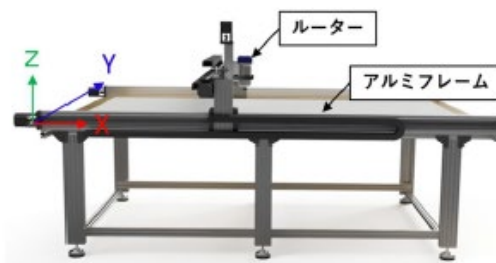
※2:株式会社アクティオ、株式会社竹中工務店、株式会社爽美、株式会社カナモト、朝日機材株式会社、AvalonTech 株式会社から特許出願済み

従来、ボード貼り作業は、熟練の作業員が、寸法実測・ボードへの墨付け・手作業によるボード加工裁断・貼り付けを二人一組で行っていました。今回の「iBow」は、スマートフォンアプリから寸法を入力することができ、面倒なボードへの墨付け作業<sup>※3</sup>を省き、ボードの加工裁断を可能にしました。加工されたボードを貼り付けている間に、次のボードの寸法データを送信し、「iBow」がボードの加工をスムーズにタイムレスに行うことで、大幅な時間の短縮が可能になります。また、本体重量が 80 kg とコンパクトな設計のため作業場所への持ち運びが容易です。

※3:木材やボード材に寸法通りの印しをつけて行く作業の事

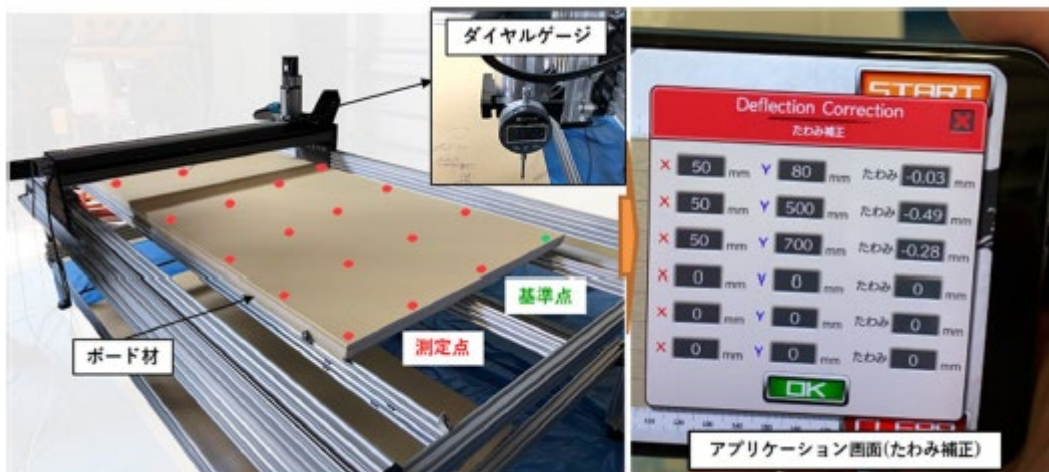
株式会社アクティオは今後も「レンサルティング」のノウハウを活かし、様々な社会問題を解決する製品やサービスを提供していきます。

### ■高精度な『たわみ補正プログラム』と、新開発の切削刃で高品質な加工を実現

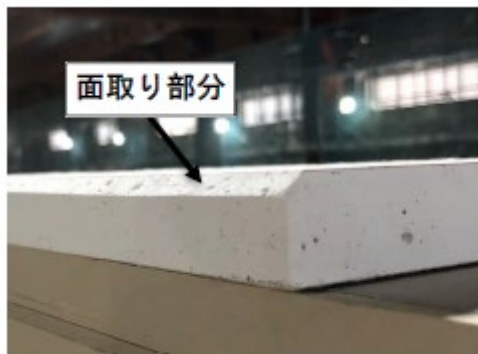


「iBow」本体

山積みされたボード材をそのまま上部から順次加工していくと、本体フレームのたわみやボード材自体のたわみにより、その下の新品のボードに傷が付いてしまいます。「iBow」は、本体アルミフレームのたわみ量の補正に加え、基準点とその他の測定点 20 カ所を事前にダイヤルゲージで計測し、ボード材のたわみを演算、補正することで連続加工を可能にしました。



【ダイヤルゲージ計測によるボード材たわみ補正】



【ボード材断面(切断後)】

従来は切断面の面取り加工が必要で手作業によるヤスリ掛けをしていました。「iBow」は切断と同時に面取り加工を行う切削刃を新開発、これにより、ヤスリ掛け不要で高品質の加工を実現しました。

### ■専用スマートフォンアプリで簡単操作

作業者目線での操作性を重視したユーザーインターフェイスを実装しています。縦横の切断だけではなく様々な形状に対応しており、アプリ上から直接寸法値を入力出来ることで材料加工前の墨付け作業が不要となっています。



【アプリ操作画面】

### ■「iBow」仕様

【重量】約 80kg

【サイズ】幅 :1,900mm/高さ:1,200mm/  
奥行き:1,100mm

【対応 OS】Android6 以降(2021年6月以降、iOSに対応予定)

【その他】商用バンなどへの積載を念頭においたコンパクト設計



## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオ

は単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】[https:// www.aktio.co.jp/](https://www.aktio.co.jp/)

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 技術部 担当:小林 宏、小林 賢甫

TEL:03-6680-9254 FAX:03-3276-0322 e-mail: [gijutsubu@akt-g.jp](mailto:gijutsubu@akt-g.jp)